

「サロン9条」第301回例会が 岐阜・近郊版14面で紹介されました。

## 内部被ばく調査へ 「乳歯を提供して」

岐阜 サロン9条 講演

岐阜・九条の会が毎月開くサロン九条が、岐阜市の岐阜合同法律事務所であった。会員ら約二十人が参加し、子どもたちに乳歯の提供を呼び掛ける「乳歯

保存ネットワーク」(同市)の松井英介共同代表(モセ)が講演した。

松井さんは、東京電力福島第一原発事故で放出された放射性物質の影響を調べる民間測定所の開設準備を進める医師。

集めた乳歯を分析し、蓄積したストロンチウム90の濃度から内部被ばくの可能性を探る。

ストロンチウム90について、第一原発周辺の警戒区域内の動物の歯に高濃度の蓄積があったとの研究データを説明。「歯に付着すると三十、四十年動かず、放射線源が体内に残る」として、測定の意義を強調した。

(近藤統義)



内部被ばくについて説明する松井さん。17日、岐阜市の岐阜合同法律事務所で

チウム90の濃度から内部被ばくの可能性を探る。

ストロンチウム90について、第一原発周辺の警戒区域内の動物の歯に高濃度の蓄積があったとの研究データを説明。「歯に付着すると三十、四十年動かず、放射線源が体内に残る」として、測定の意義を強調した。